

2011年3月13日
OMソーラー株式会社

自立運転型ハンドリングをご利用の方へ

太陽電池により運転する自立運転型ハンドリングご利用のお客様には、コンセントを停止しても、ハンドリングが停止しません。こちらの手順に従い太陽電池のプラグを外してください。

注意

制御盤内部には、高電圧の部分があります。

コンセントを抜いても、太陽電池が接続されている場合には、感電の恐れがあります。

基盤の金属部分などに触れないよう十分ご注意ください。

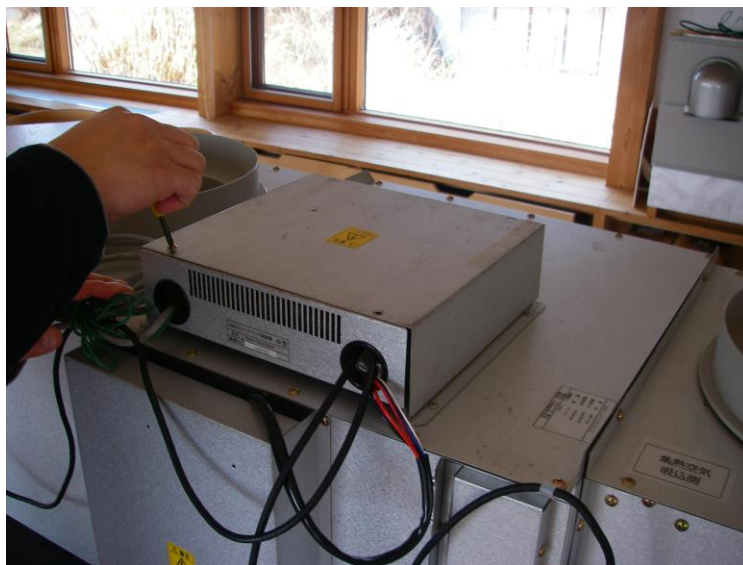
お願い

なお本措置は、緊急時における対処方法を示したものです。

事態の収束に伴い、OMソーラーを復旧させる場合には、建物を施工された工務店またはOMソーラー株式会社までお問い合わせください。

取り外し手順

- 1、 ハンドリングボックスからつながっているコンセントを外す
- 2、 ハンドリングボックス上部の制御盤のフタを、プラスねじ（4本）を外すことによりあける。

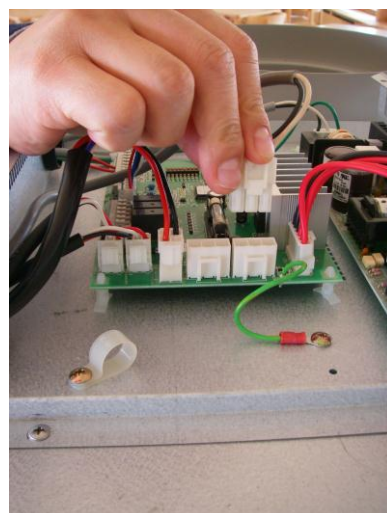
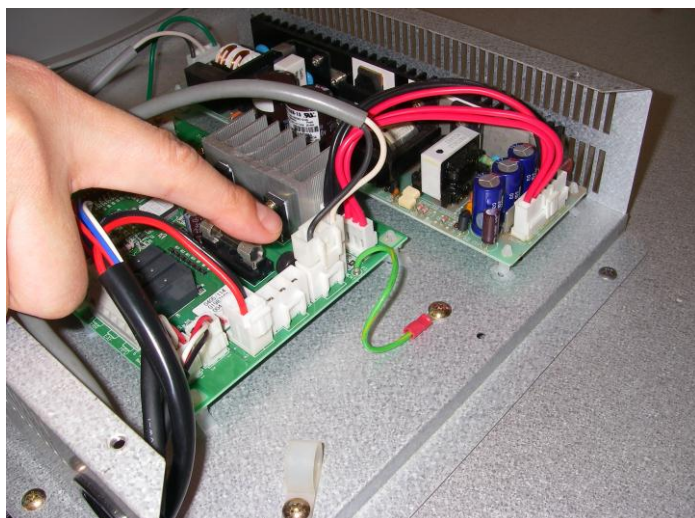
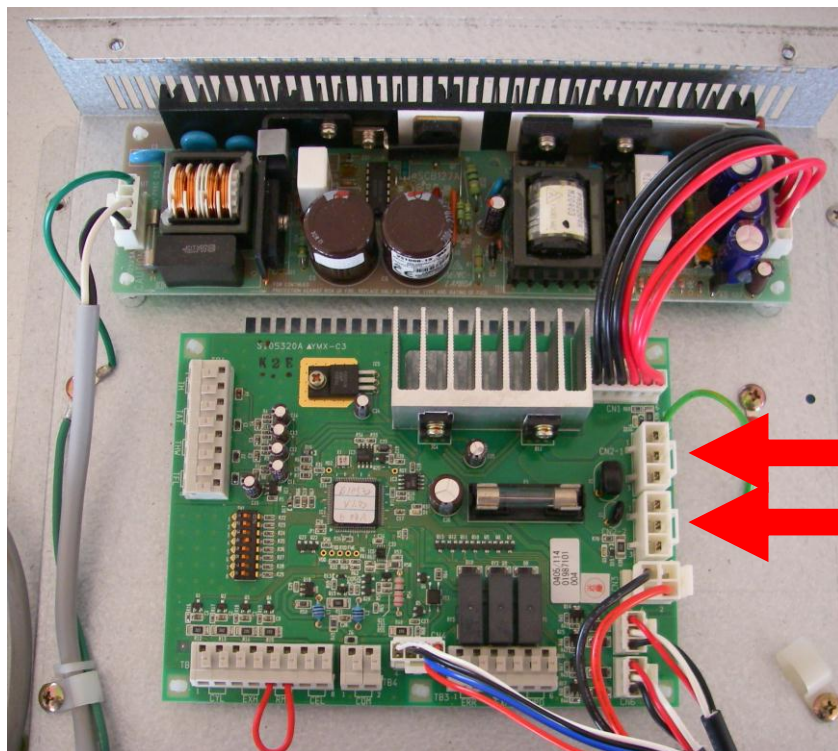


- 3、 内部にある基盤の右手側にCN 2-1、CN 2-2と記載のある太陽電池のコネクタを外します。ここからは、以下のタイプ毎の記述をご確認ください。

	小型リモコンタイプ	タッチパネルリモコンタイプ
出荷時期	2010年夏頃まで	2010年夏ごろから
リモコンイメージ		

■小型リモコンの場合

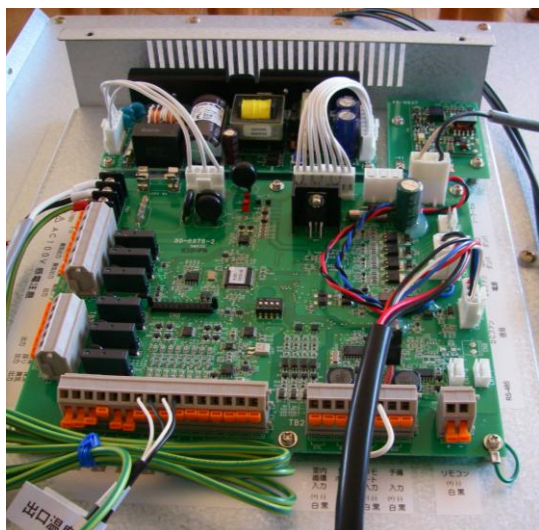
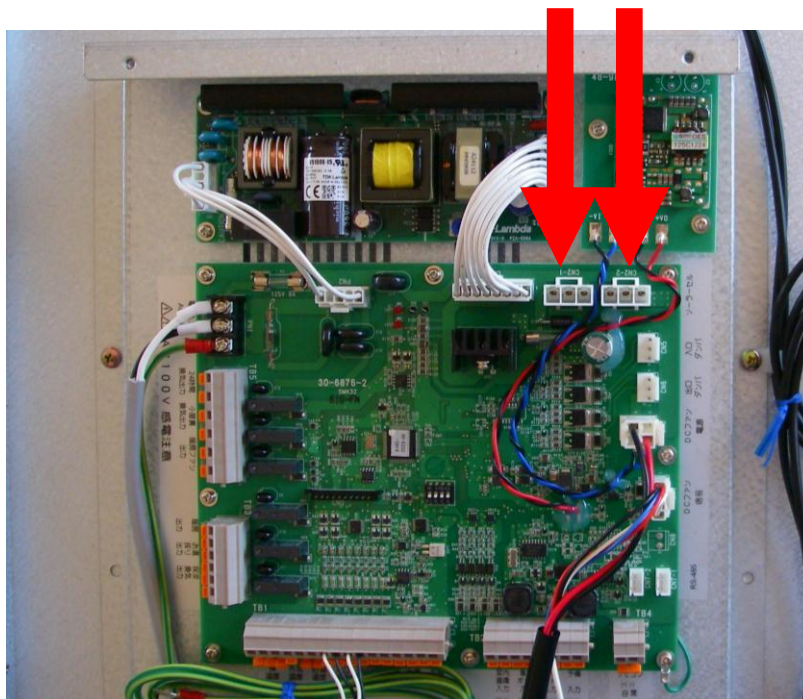
制御盤右手側のコネクタを外します。機種により1本、または2本のケーブルが接続されている場合があります。コネクタには外れ止めの爪があります。爪をつかむようにコネクタを外してください。爪は矢印側にあります。



- 4、 太陽電池のケーブルはショート（短絡）しないように、ビニールテープなどで覆ったうえ、制御盤のカバーを元に戻し、ねじを締めてください。

■タッチパネル型リモコンの場合

制御盤右上のコネクタを外します。機種により1本、または2本のケーブルが接続されている場合があります。コネクタには外れ止めの爪があります。爪をつかむようにコネクタを外してください。爪は矢印側にあります。



- 4、 太陽電池のケーブルはショート（短絡）しないように、ビニールテープなどで覆ったうえ、制御盤のカバーを元に戻し、ねじを締めてください。